

第16回桃山学院大学・啓明大学校国際学術セミナー

——報告と討議の概要——

1995年の第16回国際学術セミナーは、11月14、15の両日にわたって啓明大学校（韓国大邱市）東西文化館において開催された。そのプログラムは別記の通りである。また、研究報告の全文と討議の概要については本誌上に掲載される。

このセミナーは両校の関係者の非常な努力によって継続されてきた。まず、そのこと自体が評価されるべきであり、今回も、とくに、啓明大学校側のご努力によってつつがなく開催されたことは慶賀に勘えない。篤く御礼申し上げる。

しかし、今後を展望して、これまでの努力を惰性に終わらせないことが肝要である。そのためには、研究交流の質的な向上がはからねばならない。昨年のセミナーにおいて啓明大学校側から提案された「比較研究から共同研究へ」という方向もその一つであろう。しかし、当面は、国際学術セミナーの名にふさわしい高水準の研究が引き続いてなされ、その内容によって学の内外にひろく声価を確立することが急務である。その意味でも、今回の啓明大学校の発表者のご努力に対する感謝とともに、本学から参加された村田教授および寺木教授の寄与を讃えたいと思う。

優れた研究報告を募るための一つの方法として、テーマの制約を緩めて参加者の幅を広げることも必要であろう。したがって、1996年度に本学で開かれる第17回のセミナーのテーマに関しても、その点を勘案しつつ、啓明大学校と折衝中である。結果は未定であるが、所員各位のご理解とご協力を願ってやまない。

（後藤邦夫*）

* 本研究所所長

** 収録時、論文名が修正されたものもある。

（付） 第16回桃山学院大学・啓明大学校
国際学術セミナープログラム**

第1日目 11月14日（火）

（10：30）第1部

テーマ：孤山尹善道と松尾芭蕉の自然観の比較

報告者：兪玉姫（啓明大学校人文科学大学日語日文学科）

司会者：高在経（啓明大学校社会科学大学貿易学科）

討論者：元明洙（啓明大学校人文科学大学国語国文学科）

通 訳：兪玉姫（啓明大学校人文科学大学日語日文学科）

（13：30）第2部

テーマ：日本近世被差別民の生活と文化

報告者：寺木伸明（桃山学院大学文学部）

司会者：柳漢佑（啓明大学校社会科学大学経済学科）

討論者：李炳魯（啓明大学校外国学大学日本学科）

通 訳：李炳魯（啓明大学校外国学大学日本学科）

第2日目 11月15日（水）

（10：30）第3部

テーマ：経営哲学と組織倫理学

—日本の哲学と経営学の一つの潮流—

報告者：村田晴夫（桃山学院大学経営学部）

司会者：趙峰震（啓明大学校経営大学経営学科）

討論者：金柄夏（前啓明大学校社会科学大学経済学科）

通 訳：姜泰景（啓明大学校社会科学大学経済学科）

（13：30）第4部

テーマ：AHPのGDSS活用に関する研究

報告者：孫達鎬（啓明大学校師範大学商業教育学科）

司会者：金善政（啓明大学校経営大学会計学科）

討論者：金榮文（啓明大学校経営大学経営情報学科）

通 訳：金鍾淇（啓明大学校産業経営研究所特別所員）